

本願寺長野別院からのお知らせ 2021 秋

<http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin>

秋季彼岸会

9月23日(木) 午後1時30分
墓地・納骨堂をご使用の皆さま、有縁の方々にご案内いたします。
※本年より、期間を変更して勤修いたします。

報恩講法要

10月29日(金)

～11月1日(月)

講師 井上慶永師

(新潟市妙光寺住職)



29(金)初夜(善立寺)

30(土)晨朝・速夜・初夜(定専寺)

31(日)晨朝・速夜・初夜

1(月)晨朝・日中

※晨朝(朝7時)、日中(午前10時)

速夜(午後1時30分)、初夜(夕6時)

※YouTubeで動画配信予定です。

※帰敬式 30日日中

◎9月末まで受付中。なお、内願受けは終了しました。

◆新型コロナウイルス感染防止のため、お齋等の接待を中止とします。また、恒例の「真宗フェスタ」も中止とします。ご了承をお願いします。
◆感染防止対策を行ったうえでの勤修です。マスクの着用にご協力ください。

御命日法要・常例法座

10月16日(土)・17日(日)

講師 柏倉学法師

(千葉県我孫子市 真宗寺)

11月16日(火)・17日(水)

講師 義本弘導師

(大阪府枚方市 浄行寺前住職)

12月16日(木)・17日(金)

講師 増田廣樹師

(茨城県ひたちなか市 清心寺)

※いずれも午後1時30分から

お晨朝(朝のおつとめ)

毎朝7時30分から8時頃まで

※「私たちのちかい」を唱和して、一日がはじまります。

「私たちのちかい」は2面に掲載

◆次号では、「浄土真宗のみ教え」としてまとめられた言葉を紹介いたします。

再・猫【ねこ】

何か良い方法を教えてください。後始末に追われる昨今です。



「報恩講法要」

親鸞聖人の御命日は、新暦1月16日です。このご命日に、ご本山西本願寺でのご法要にもお参りできればと、取り越して各お寺やご家庭などで報恩講法要がとめられます。そのため「お取り越し」とも呼ばれ、長野別院では10月に報恩講法要が勤修されます。この報恩講法要は、永仁2(一二九四)年、親鸞聖人の33回忌に際し、ひ孫にあたる本願寺第3代覚如上人が『報恩講私記』を撰述され、聖人のご命日にこのご文を拝読し、聖人に対する深い謝意を表されたのが「報恩講」のはじまりです。
京都・西本願寺では7日間におたつて1月16日をご満座として法要が勤まりますが、長野別院ではお取り越しとして10月29日(金)から11月1日(月)までお勤めいたします。新型コロナウイルスの影響で例年とは違った形になりますが、ご一緒に親鸞聖人のご苦勞を偲び、み教えをよるこばせていただきましょう。

ほう・おん【報恩】 恩に報いること

あるお父さんが、子どもの誕生日にプレゼントをしました。ずっと欲しがっていたおもちゃを前に、子どもは嬉しくてはしゃいでいます。その子どもに「ありがとうは？」というお父さん。何も見返りを求めているわけではありません。お礼の言える人になってほしいとの願いを、子どもにかけているのです。同じように、阿弥陀さまは「ご恩を喜ぶ人となっておくれ」と、私に願いをかけてくださっています。

「ありがとう、おかげさま」とお礼のできることで、豊かな心はあります。お礼ができないのは不足がある証拠で、寂しい姿ではないでしょうか。

以前、人間に一番見えないものは、自分の内面とご恩である、と聞きました。阿弥陀さまは、そんな私の心を照らし出し、真実の方向へと導いて下さいます。そのご恩を思うと、頭が下がり、お礼申さずにおれなくなりそうです。

お寺で、家庭のお仏壇で、報恩講をお勤めし、ご恩をよるこばせていただきましょう。

長野別院は、開かれたお寺をめざしています。
お寺の活動に関するアンケートに
ご協力ください。
3分で終わるアンケートです。



長野別院からの手紙 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

実践目標① 貧困の克服に向けて—Dāna for World Peace— 子どもたちを育むために
実践目標② 濁世に生きる一立教開宗の願いを聞く—

子どもの居場所「寺小屋」 —またあいこ—

ご門徒の倉石さんを通じて、信州大学の学生が「子どもの居場所づくり」の場所を探していることを知り、長野別院を会場として提供し「寺小屋」がはじまりました。

私たちの浄土真宗本願寺派(西本願寺)では、SDGsの目標とも合致して「だれ一人取り残さない」、ともに心豊かな社会の実現をめざす取り組みをすすめています。その一環である「子どもたちの笑顔のために募金」の具体的行動として「寺小屋」運営を後援しています。

なお「またあいこ」は、信大生を中心に高校生から社会人で構成されており、代表は北海道出身の川岸さん(信大教育学2年)です。

「またあいこ」では、この活動に参画いただける方(特に学生)を募集していますので、まずはよかったら、「寺小屋」開催日にお気軽に参加してみてください。

8月は新型コロナの影響で中止

になりましたが、9月は25日に開催予定です。(「またあいこ」で検索)



またあいこ

検索

<https://www.facebook.com/mataaico/>

中・高校生は2階の部屋で各自黙々と自習。小学生達は境内で「だるまさんがころんだ」や畳の講堂で走り回ったり、トランプしたり、紙飛行機を飛ばしたり自由に遊んで過ごしました。

「子どもの居場所」がありますので、活用してください。大人はそれをそばで見守ってください。

墓地の通路を歩きやすく

現在、墓地の通路は、昔のお墓の跡が残っていて

凸凹していたり、中途半端に小石が転がる状態であるために歩きにくい状態です。また、雨が降ったときは水捌けの関係から、非常にぬかるんでしまいます。そのため通路をコンクリートなどで整備する考えでした。

しかし、実際にすすめていくなかで、地面に起伏や傾斜があり、それを均しながらすすめるにしても、傾斜の関係とコンクリートが液状という性質から無理が生じ、さらに狭い通路であることからコンクリート舗装が現実的でないことが明らかになりました。

あらためて考え直し、様々な資料を参考にし、最もオーソドックスな方法になりましたが、できるだけ地面を均した上に小石を敷きつめる方法で対処しようとしています。



本堂のトイレ

本堂の横にあるトイレについて、大変使い勝手が悪い状況にあります。申し訳ない気持ちです。

このたび、本堂やお墓にお参りいただいた際、少しでも使い勝手が良いようにトイレを改修することになりました。



ご相談ください

お墓に関することや葬儀や法事、仏事全般に関する事など、気になることがありましたらご相談ください。

お礼

本年度「護持費」「墓地管理費」をお納めいただき有り難うございました。別院の諸設備の維持や法要・法座などの各種行事の運営等に有意義に使わせていただきます。皆さまのお寺です。気になることがございましたら、ご意見くださいますようお願いいたします。





私たちのちかい

自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

「私たちのちかい」は、仏さまの
お心をいただいた私たちが、この
現実社会でどのように生きていく
のかということについて詳しく述
べられたものです。

また、若い方やこれまで仏教や
浄土真宗のみ教えにあまり親しみ
のなかった方々にも唱和してい
てほしいという願いが
込められています。

別院のお晨朝では、
毎朝、唱和しています。



お寺の役割

前々任地広島

(安芸教区)での
思い出を通して考
えてみました。

よくテレビ番組
で、アポなしロケ
で突然有名人が訪

ねてくる番組があります。広島に
も長く続く『元就』というローカ
ル番組があり、アンガールズの二
人が各地を巡っては、その地の有
名なもの、面白いこと、隠れたすご
いことなどを取り上げて放送され
ていました。



その番組の撮影で、広島別院が
ある「寺町」をテーマにある朝、本
当に予告なしにアンガールズをは
じめ番組スタッフが訪ねてきたの
です。そして開口一番「なんでこの
あたりに薬局が多いんですか」
と。「・・・」です。カメラやマイ
クに圧倒されながらも、とりあえ
ずご一行を本堂に案内しました。

その途中、境内を見渡しながら、
他宗ならどうだろう。境内に大き
な香炉があって香が焚かれていた
り、おみくじがあったりして絵に

なるだろうに……。反面、浄土真宗
のお寺は実に絵になるものがない
と思つたのです。そしてここは寺
町。お寺とお墓が圧倒的に多く、面
白い話題など見当たらずが、あり
ません。本堂は、金色の内陣があつ
て、それより広い外陣が広がるだ
けです。

やれやれと思ひながら頭フル回
転で話したことは「安芸門徒の特
徴」です。そもそも、絵にならない
浄土真宗のお寺ですが、今日まで
大事にされてきたということは、
その時代を生きる人にとって「生
きる力や支え」となる「教え」を説
いてきたお寺だったということだ
り、その教えを「安芸門徒」が生
活の中に実践してきたからに外な
りません。それをお笑い芸人に話
してみました。

① 「いのちの尊さ」

貧しい中でも「まびき」をしな
かった。また、生きるため、食べ
るために海を渡り、北米・ハワ
イ・南米に行き、その地で生きる
ために必死で働いたのです。
日の良し悪しを気にする暇なく、
むしろ気にする必要がない生活
にあったのです。

② 「何が真実であるか、真実なるものをよりどころに」

日の良し悪しは気にしません。
生きるため、食べるため、儲ける
ために働きました。また、身体
の具合が悪いときは、祈禱には頼
りません。状態に応じた薬を服
用して病気にも向き合つたので
す。因果の道理をわきまえた生
活だったので。

ここで、開口一番の「なんで薬局が
多いんですか」につながるのです。
かつてのお寺は、学問や文化、芸術、
福祉、医療など、様々な面において
最先端にあつたのです。

後日、放送を見ました。見事に編
集されていました。お笑い芸人相
手に真面目すぎるところが逆に笑
え、二度と来て欲しくないと思
いましたが、その後も二回、別のテ
ーマで訪問がありました。良い思
出であるのと同じ
時に、現代にお
いてお寺が果た
せる役割をでき
るだけ多くの皆
さんと考え、実
行できたら有り
難いと思ひます。

